



県児童生徒発明工夫展覧会で 手塚さんが銅賞



第65回県児童生徒発明工夫展覧会において、芳賀東小学校4年生手塚涼太さんが、銅賞を受賞しました。表彰式は11月16日に県総合教育センターで行われました。



▲手塚 涼太さん

今回の展覧会には、県内の小・中学校、高等学校、団体から233人、232点の応募がありました。

■手塚さんのコメント

夏休み前に、スロットを貯金箱にできないかとアイデアが浮かびました。スロットを、回転するように取り付けるところが難しかったけれど、クルクルと回るところが気に入っています。受賞できてうれしいです。工作は好きで、図工の時間が楽しいです。将来の夢は、人の役に立つ物を発明することです。

■作品介绍

上部の台座から滑らせて落としたコインに当たって、色紙で表現された星やイチゴ、バナナなどの面を持つスロットが回転します。落ちたコインは下部に留まり、取り出し口から出すことができます。厚紙やプラスチック片、竹ひご、テープ、モールなどを用いて作られています。

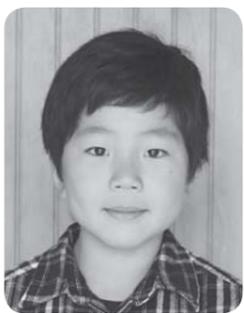


▲受賞作品「ラッキースロット」

下野教育書道展で 和田さんが準特選



第48回下野教育書道展において、芳賀南小学校1年生和田佳大さんが、準特選を受賞しました。表彰式は11月26日に壬生町中央公民館で行われました。



▲和田 佳大さん

今回の審査には、毛筆・硬筆の各部門に、県内の小・中学生、高校生から8万4533点の応募がありました。

■和田さんのコメント

じゅんとくせんをとれて、とてもびつくりしました。字のバランスをかんがえながら大きくかくのがむずかしかったけど、がんばってたくさんれんじゅうしました。みんなからおめでとうといってもらえてうれしかったです。

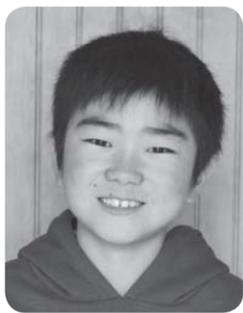


▲受賞作品「ゆめ」

「交通事故防止に関する作文」で 小野瀬さんと阿久津さんが入選



県の平成27年度「交通事故防止に関する作文」の審査において、芳賀南小学校3年生小野瀬裕人さんと芳賀中学校1年生阿久津綾菜さんが、入選しました。11月20日に県総合文化センター



▲小野瀬 裕人さん

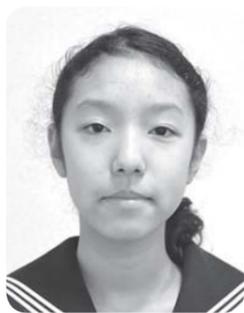
で行われた第7回交通・生活安全安心県民大会において、知事から表彰されました。今回の審査には、県内から小学校の部4、811編、中学校の部12、265編の応募がありました。

■小野瀬さんのコメント

作文題名「交通事故は、こわい」がよくが交通安全の作文を書くことと思った理由は、いっしょにすんでいるおじいちゃんが交通事故にあったことで、できなくなったことがあることと、交通事故のこわさをみんなに知ってもらいたかったからです。

■阿久津さんのコメント

作文題名「あなたがマナーを守ることで」
自分が交通事故に遭いかけた経験のことや、学校での交通安全教室で学んだことを基に書きました。作文はあまり好きではなく、夏休みの宿題として急いで書いたので、受賞したことが信じられませんでした。入賞できてうれしいです。



▲阿久津 綾菜さん

下野新聞小学生読書感想文コンクールで 上野さんが優秀賞



第27回下野新聞小学生読書感想文コンクールにおいて、芳賀南小学校6年生上野真愛さんが、優秀賞を受賞しました。表彰式は12月5日に下野新聞社の本社で行われました。



▲上野 真愛さん

■上野さんのコメント

私が『マララ』を読もうとしたきっかけは、図書室でこの本を見つけて、気になったからです。
実際に読んでみると、マララという女の子が体験したことが書かれていて、とてもドキドキしました。
女の子の教育のために立ち上がり、さまざまなことをしたマララさんのことを、私はとても尊敬しています。そして、これからは、少しずつでも勉強して、いい大学に行き、いい職業につくために努力したいと思います。
この本を読んだことで、たくさんのお話を学ぶことができました。

